



最上エコポリス通信

mogami ecopolis tsushin

2024年12月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はツイッターでご覧ください



大雨災害からの復旧・復興に向けた 知事と市町村長との意見交換会

11月22日に最上総合支庁において、最上管内各市町村長と吉村知事はじめ県幹部が集い、最上地域における7月の大雨災害からの復旧・復興に向けて意見交換を行いました。

県からは、最上管内の被害状況や復旧状況、被災された方々への支援状況などが説明・報告され、市町村長からは、各市町村の被害を受けた現場の状況や復旧・復興に向けた課題、農業や林業などをはじめとする生業復旧や生活の再建に向けた国・県への要望事項等が述べられました。

県では、大雨災害からの早期の復旧・復興、生活再建を目指して、各市町村と協力し、被災された方々に寄り添って取組みを進めてまいります。

[総務課防災安全室 29-1209]



新庄古口道路10.6kmが全線開通しました！



高規格道路新庄酒田道路の一部を構成する、国道47号「新庄古口道路」のうち、新庄市大字升形～戸沢村大字津谷までの延長6.0kmが12月7日に開通しました。

これにより、新庄古口道路（新庄市大字本合海～戸沢村大字古口間）10.6kmが全線開通となりました。

当日は、開通に先立ち、戸沢村中央公民館において開通式が行われたのち、開通区間の岩清水トンネルでセレモニーが行われ、吉村知事が「国道47号とのダブルネットワーク形成により災害発生時等の信頼性が向上するほか、物流の効率化による産業振興、救急医療搬送の迅速化、定時性の向上などに大きく寄与するものと期待する。」と祝辞を述べました。その後、テープカットとくす玉開披を行い、開通を祝いました。

最上総合支庁では、今後も更なる道路利用の拡大を図るとともに、高規格道路ネットワークの形成に向け関係機関と連携し取り組んでまいります。

[建設総務課 29-1391]

高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて



基調講演：木村 康博 氏



(左から意見発表者：濱 徹史 氏 大場 宏利 氏 小林 孝一 氏)

10月31日、新庄市民文化会館において、第23回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会を、最上地域の市町村長や県議会議員など、約500名の方にご出席いただき開催しました。

大会では、国土交通省 東北地方整備局 道路部長の木村 康博 氏による「道路を取りまく最近の話題」と題した基調講演の後、地域で活躍する3名の方から、高規格道路の必要性や早期整備を期待する思いなどを意見発表いただきました。その後、広域交流・連携に不可欠な高規格道路網の早期整備を要望する大会決議を満場一致で採択しました。

今後も東北中央自動車道、新庄酒田道路、石巻新庄道路による「高規格道路十字連携軸」の整備促進に向け、地域の機運醸成を図ってまいります。

[建設総務課 29-1391]

第2回最上地域議員協議会の開催

11月22日、最上総合支庁において、第2回最上地域議員協議会が開催され、最上地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、最上地域における最近の状況や課題について審議が行われました。

審議に先立ち、最上総合支庁長から管内の状況についての説明があり、その後、各委員から、7月25日からの大雨被害の被害額・災害査定状況、最上小国川流水型ダムの整備効果、最上小国川沿いの道の駅がみ付近の浸水対策、6年産米の品質確保に向けた取り組みや大雨被害に伴う農業用水確保のための支援状況、山形県災害見舞金等の支給状況、林業における中国向け輸出事業等について質疑がなされ、各分野にわたって活発な意見交換が行われました。

[総務課 29-1211]



農林業の未来を見据えて ～東北農林専門職大学開学記念事業～

11月21日、東北農林専門職大学開学記念事業が開催され、現地参加者とオンライン参加者総勢300名が参加しました。

開学記念事業に際して吉村知事が挨拶を述べ、大学応援組織設立について発起人を代表して3名の方から力強い発起のお言葉を頂戴しました。

基調講演では、農林中金総合研究所理事長 ^{みながわ よしつぐ} 皆川 芳嗣 氏から「農と林の可能性と若者への期待」と題して講演いただいた後、最前線で活躍中の農林業関係者による、これからの農業・森林業に必要な学び等をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

[東北農林専門職大学 25-8302]





Facebook



Instagram

高校生が教えるジモトの魅力 新庄・最上ジモト大学オープンキャンパス開催！

11月9日、新庄市教育の日コスモスデーにあわせて、「新庄・最上ジモト大学オープンキャンパス2024」を開催しました。当日は、高校生が講師となって来場者の方にプログラムをプチ体験していただいたほか、今年度のプログラムで高校生が作った作品や、活動に関するパネル等の展示を行いました。

小さなお子さんから大人の方まで述べ100名以上の方にご来場いただき、ジモト大学の楽しさ、地域の魅力を知っていただく機会となりました。今後もさらにジモト大学の活動の輪を広げていけるよう取り組んでまいります。
[連携支援室 29-1236]



セルフプロデュース体験



木工クラフト体験



自衛隊体験



手話体験

最上地域の豊かな暮らしをPR



11月30日(土)東京都で、山形県への移住を検討する方を対象とした「やまがた暮らしやま盛り相談DAY」を開催しました。

最上地域の8市町村がそれぞれブースを出展し、移住を考えている方と直接お話ししながら、仕事や住まいなど、移住に関する疑問や悩みにお答えしました。

イベントには、具体的に移住を検討している方が多く参加し、各市町村の移住担当者が、実体験を交えながら最上の豊かな暮らしを伝え、移住希望者に向け、最上地域の魅力をPRすることができました。

また、イベント終了後には交流会「最上ドリンクス」を開催し、東京在住の山形出身の方など、山形にゆかりのある人たちが集まり親睦を深めました。

今後もオール最上で移住を希望する皆さんをサポートしてまいります。
[連携支援室 29-1238]



AMAZING MOGAMI 観光地域づくり塾開校中

最上地域観光協議会(事務局:観光振興室)では、今年度、観光マーケティングのノウハウや観光地域づくりのスキルを学びながら、観光コンテンツを造成する「AMAZING MOGAMI 観光地域づくり塾」を開校しています。

最上地域の宿泊施設や道の駅の従業員、地域おこし協力隊など、日頃から観光に携わっている方7名が参加しています。塾は、「観光地域づくり・観光マーケティング」、「顧客視点と地域視点、コンセプト」、「顧客価値を届ける情報発信」をテーマに計3回あり、塾生それぞれが、新たな観光コンテンツ造成や磨き上げを行っています。

10月23日には、ラ・テール舟形を会場に2回目の塾が行われ、「顧客と地域視点を極めた着地型旅行商品づくりのコツ、観光客と地域(体験)を結ぶコンセプト(世界観)」について、それぞれのコンテンツを題材に、講師のアドバイスを受けながら理解を深めました。



10/23 2回目の塾の様子(ラ・テール舟形)

[観光振興室 29-1311]

最上農業賞受賞おめでとうございます

11月14日、東北農林専門職大学大講義室において、最上地域農業・畜産振興協議会主催の最上農業賞表彰式が開催され、会長である山科朝則新庄市長より受賞者に賞状と記念品が授与されました。

「技術及び経営改善部門」で受賞した戸沢村の「株式会社 藤ファーム」（代表取締役 二戸部康之氏：写真左から3人目）は、水稻の「ペースト二段施肥」の実証試験やアスパラガスにおける施設栽培・高畝栽培等の先進的な取組みとそばの作業受託等の地域農業への貢献が評価されました。

「組織活動部門」で受賞した「もがみ中央農業協同組合ドローンユーザーの会」（会長 阿部欽也氏：写真左から4人目）は県内初のドローンを利用する農業者組織で、会員の研修会による関連法規の理解促進や免許取得の体制整備等でドローンの普及拡大に貢献したことが評価されました。

引き続き行われた記念講演会では、「気象災害から立ち上がる『セーフティネット』の活用」をテーマに、山形県農業共済組合と、日本政策金融公庫の担当者より「収入保険」や「セーフティネット資金」についての講演が行われました。

[農業技術普及課 29-1322]



最上地域みんなで子育て応援団 「～R6 みんないっしょ～ 親子でスポーツ！」

11月2日（土）、新庄市の「すぽーていあ」にて、伊藤淳子先生、沓澤保代先生、新庄スポーツ協会の高橋美祝先生をお迎えして最上地域みんなで子育て応援団の親子スポーツイベントを開催し、23組 53名の親子に参加いただきました。子どもたちはババママと一緒にヨガ、運動遊び（アクティブチャイルドプログラム）、ダンスなどに元気いっぱい取り組んで、親子の笑顔や歓声が溢れる時間となりました。当日は、新庄東高のボランティア7名にもお手伝いいただき、「高校生ボランティアのお兄さんお姉さんが嬉しくて楽しさ倍増でした」との声もあったように、大いに盛り上げてくれました。参加者からは「子どもと一緒に運動できて楽しかった」「1年に1回しかないのが残念」などの感想を頂き、皆さんに楽しんでいただくことができましたようです。みんなで子育て応援団では、これからも地域の子育て応援事業に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第2回目として、11月19日に真室川町立真室川小学校・真室川あさひ小学校・真室川北部小学校の6年生を対象に開催しました（3校合同）。今回は、薬剤師・看護師・介護福祉士を講師にお迎えして、仕事の内容やこの仕事を選んだ理由、最上地域で働く魅力などについて講演いただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。生徒たちは、処方箋クイズ（薬剤師）、バイタルサイン測定、手洗いチェック（看護師）、ジェスチャーゲーム（介護福祉士）などに興味深く取り組み、医療・介護分野への興味・関心が高まったようです。



[保健企画課 29-1257]

Information

おいしい適塩ランチをお試ください

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、健康な食生活を実践するきっかけとしていただくため、最上総合支庁の食堂で年4回「おいしい適塩ランチ」を提供しています。

【第3弾メニュー】 (12/19 実施)

- *カラフル野菜の油淋鶏
- *温野菜のサラダ
- *ごはん
- *フルーツ
- *しょうが香る具だくさんみそ汁



詳しい作り方はこちらに掲載しております。
今年度ラストの適塩ランチは【2/19(水)11時半～】を予定しております。
食塩控えめでもおいしいランチをお試ください。
[地域健康福祉課 29-1267]

＼ ひらめきを“カタチ”に ／ 新庄・最上ジモト大学チャレンジラボ開催！

今年度も多彩なプログラムが実施されたジモト大学。地域の皆さんに取組みを知っていただき、さらに“ワクワク”するジモト大学にしていくため、「新庄・最上ジモト大学チャレンジラボ 2024」を開催します。

高校生やプログラムに協力いただいた皆さんと一緒に、自分たちのやりたいことを詰め込んだ、オリジナルのプログラムを作ってみませんか？

どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

- 日時■12月25日(水) 13:30～16:30
- 場所■ゆめりあ2階 会議室
- 内容■第1部 ジモト高校生の成果発表会
第2部 ジモト大学チャレンジラボ
- 申込■QRコードからお申し込みください↓

高校生



大学生
社会人



[連携支援室 29-1236]

2024 秋の最上传承野菜うまいものフェア 開催中です！

秋に旬を迎える最上传承野菜や最上地域の農畜産物を使った料理や加工品を味わって、スタンプラリーに参加してみませんか？抽選で素敵な景品が当たります！この機会に、最上地域のうまいものを是非ご堪能ください。

期間：11月17日(日)～12月31日(火)



最上传承野菜
HP



Instagram



[農業振興課 29-1315]

令和6年元旦に発生した能登半島地震では冬期ならではの課題が明らかになりました。

冬期の大地震の場合、例えば落雪や道路の積雪・凍結、吹雪等により避難路が確保できないことや、寒冷下の厳しい環境での避難行動・避難生活となることが想定されます。

このため、日頃から避難路の安全確認や、突発的避難に対応できる防寒対策、生活物資の確保など、季節を問わず備えておくことが重要です。さらに、災害発生で焦ったときであっても暖房器具等火元への注意を怠らないようにし、避難時の自身の感染症対策など先々のことも想定しておきましょう。

冬期の災害に備えよう

雪害事故をなくそう



冬期は災害以外にも日常生活に危険が潜んでいます。特に、自分は大丈夫という過信から、除雪時の屋根からの転落や凍結路での転倒は毎年後を絶ちません。命綱の装着や足元の安全確認など、事故を防ぐために何ができるかを考え、できることから実践してみましょう。
[総務課防災安全室 29-1209]

適正受診にご協力をお願いします

近年、全国的に救急患者に占める軽症者の割合が増加しており、最上地域でも、緊急性の高い患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。医療機関の適正受診にご協力をお願いします。

詳細はこちら（県ホームページ）

～急な病気やけがに備えて～医療機関を受診する際のお願い【動画をご覧ください】

<https://www.pref.yamagata.jp/090013/kenfuku/iryo/iji/tekiseijushin.html>



山形県
救急電話相談
小児救急電話相談 #8000
大人の救急電話相談 #7119

[保健企画課 29-1256]

ノロウイルス食中毒にご用心！

ノロウイルスによる食中毒は一年を通じて発生していますが、特に冬の寒い時期に多発し、家庭でも発生します。

次のポイントに注意して、ノロウイルスによる食中毒を防ぎましょう。

<予防のポイント>

- 1 調理をする人の健康管理
・症状があるときは、食品を扱う作業を避ける。
- 2 調理前などの手洗いの徹底
・トイレの後、調理前などこまめに手を洗う。
- 3 調理器具の洗浄・消毒
・調理器具は洗剤・流水でよく洗う。
・熱湯や塩素で消毒する。
- 4 食品の十分な加熱調理
・食品を中心までしっかり加熱する
(85℃以上で90秒以上)

食中毒予防は

丁寧な手洗いから！！



[保健企画課生活衛生室 29-1261]

安全なお風呂の入浴術

冬は入浴事故の多い季節です。特に、60歳以上の方に多く発生しています。入浴習慣を見直し、安全で快適なお風呂ライフを楽しみましょう。

安全に入浴するための8つのポイント

- ①こんな時は入らないで！
・体調が悪い時、お酒を飲んでから、食べてすぐ（30分～1時間以内）など。
- ②脱衣所・浴室の温度差に注意
→入浴前に**脱衣所や浴室を暖めて**おきましょう。
→温度の急激な変化により血圧が大きく変動するなど、身体に大きな負担がかかります。
- ③お湯の温度は**41℃以下**に
→熱いお湯は急激に血圧を上昇させます。
- ④入浴前後、十分な水分補給を
- ⑤入浴前にかけ湯を！
- ⑥一言かけてからお風呂に入ろう！家族は頻繁に声かけをしましょう
- ⑦浴槽のふたを目の前に置き半身浴
→半身浴は心臓への負担を軽くします。
- ⑧あがる時はゆっくりと
→立ちくらみなどによる**転倒に注意**しましょう。

[地域健康福祉課 29-1267]

道路除雪作業についてのお願い

- 深夜・早朝の除雪作業にご理解を！
通勤通学時間に合わせるため早朝や深夜に行うことがあります。
- 道路に雪を捨てないで！
道幅が狭くなり、スリップや歩行者との接触事故の原因になります。
- 寄せ雪処理にご協力を！
ご家庭やご近所で協力し合い、除雪後の寄せ雪の処理をお願いします。
- 流雪溝の投雪ルールを守りましょう！
地区で決められたルールを守り、
作業後は必ず蓋を閉めましょう。



[道路計画課 29-1397]

発行日：令和6年12月16日
発行元：山形県最上総合支庁総務企画部
総務課 総合案内窓口
電話：0233-29-1360
FAX：0233-23-2605

X (旧 Twitter)

HD

